

マニュアル生かした健康管理を

OCHIS 健康起因事故防止マニュアル改訂

ヘルスケアネットワーク(OCHIS)は全ト協の依頼を受け、トラックドライバーの健康対策として「健康起因事故防止マニュアル」(改訂版)を作製し、1月25日に全ト協のHPに公開された。

今回の改訂版は一定

期健康診断の実施と有効活用」「高齢者と女性の活用」「点呼時に行う健康のチェック」など全8項目で構成されており、「事業用自動車運転者の健康管理マニュアル」の概要を含めた全56ページ。全ト協のHPで会員に限りPDFファイルを

ダウンロードできる。睡眠時無呼吸症候群(SAS)の記述部分では、昨年8月に改訂された「自動車運送事業者における睡眠時無呼吸症候群対応マニュアル」の内容を踏まえ、SASスクリーニング検査の実施を強く求め、準備からフォ

ロー・活用までの一連の流れを具体的に示している。

マニュアルのポイントについては、作本副理事長は「印刷が可能なので会社に貼り、使っていたきたい。文字を編集することもできるので報告書としても活用可能。社長が率先してドライバーの健康管理に対する意識を変えられることが非常に重要」と説明。

への対応、検診結果の取り扱い注意と義務などもマニュアルに盛り込まれており、「事業者は医師からの意見などを勘案し、運転者について乗務の継続または業務転換、業務時間中の高年のドライバーが



作本副理事長

増えているが、長く働いてもらい、健康起因事故のリスクを減らすためにも健康対策は必須。健康管理と対策に真摯に向き合い、ドライバーを育成することで業界全体の底上げをする必要がある。ただマニュアルを読むだけではなく、会社に掲示して周知徹底させ、健康管理に生かしてほしい」と提唱する。

(木村麻理奈)
(レイアウト・石津あや子)